

② 協働の形態：実行委員会・協議会等 (19件)

No.	実施年月日	協働事業の名称 (担当課)	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場 合は延べ人 数)	取組の効果、市民からの反響等
1	令和6年4月17日 令和6年6月26日 令和6年10月23日 令和7年3月19日	苫小牧音楽祭 2024	生涯学習課	例年実施 (令和3年～)	一流音楽家による質の高い音楽の提供及び誰もが気軽に音楽に触れる機会を構築することから、あらゆる世代の市民が音楽を通じて文化の薫り高く潤いのある市民生活の形成に資することを目的とし、鑑賞事業として「パシフィックミュージックフェスティバル公演」「TOMACON」「Stand up TOMAKOMAI」、支援事業として「TOMAKOMAI MUSIC Academy」、実施事業として「ジュニア ミュージック クリニック」の5事業を、企業や市民とともに開催	苫小牧音楽祭実行委員会	31	優れた音楽を鑑賞する機会を広く市民に提供するとともに、若手音楽家や指導者などの発表の場の提供、本市出身者やゆかりある若手音楽家を中心とした演奏会などを支援。市内の小中学生を対象に演奏家から直接指導を受けるクリニックなどの各種事業を実施することで、あらゆる世代の市民が気軽に音楽に触れる機会を通じ、音楽文化に関する意識向上を図ることができたと考える。 「音楽の絵本」の公演に対し「また開催してほしい」などの声をいただいている。ほか、世界的に有望な若手演奏が集まる「PMFコンサート」はオーケストラ公演が札幌市と苫小牧市だけの開催ということから、市民にとっても貴重な機会と捉えている。また、ミュージッククリニックにて一流音楽家による質の高い音楽指導を受けた児童、顧問からは好評の声があり、指導した講師からも、実施事業に対して高評価をいただいております。事業の目的どおりの反響があったものと考えます。
2	令和6年5月9日 令和6年7月9日 令和6年8月27日 令和6年9月20日	風間杜夫ひとり芝居「カラオケマン ミッション・インポッシブル～牛山明、バンコクに死す」苫小牧公演	生涯学習課	単年度（新規）実施	日頃から舞台芸術を間近で鑑賞できる機会が少ない市民に、本市出身で脚本・演出を手がける水谷龍二氏の舞台芸術を提供することで、多くの市民の文化芸術並びに伝統芸能に関する意識向上を図ることを目的に開催。俳優の風間杜夫さんのひとり芝居「カラオケマン」の続編にあたり、シリーズ初の海外編。風間さんが演じる牛山明は、結婚式の司会をしています。仲人をした元部下がバンコクに失踪したため、奥さんから捜索を依頼されます。海外でいざこざに巻き込まれながら、個人の幸せや家族のあり方を問いかける物語。公演当日はタイトル通り、カラオケに乗せて、歌ありダンスありで、たくさんの拍手と笑い声に包まれての公演となりました。	風間杜夫ひとり芝居苫小牧公演実行委員会	43	日頃から舞台芸術を間近で鑑賞する機会の少ない市民に、文化芸術並びに伝統芸能に関する意識の高揚に繋がっていると感じています。また、本市出身で脚本・演出を手掛ける劇作家 水谷龍二氏の公演を開催することで、アンケート結果からも、幅広い年齢層の方にご来場いただけたことから、多くの市民に一流の舞台芸術に触れ、身近に感じていただけたのではと考えております。
3	総会 令和6年5月21日 役員会 令和6年6月18日 令和6年8月20日 令和6年12月19日 令和7年2月18日 選挙啓発 令和6年5月5日 令和6年8月3日 令和6年10月19日 令和6年11月23日 令和7年2月8日 投票所立会人 令和6年10月16～27日 (衆議院議員総選挙) 令和6年12月2日～7日 (苫小牧市長選挙)	選挙啓発事業	選挙管理委員会事務局	例年実施	市民の政治参加意識の向上を図るとともに、選挙の大切さを伝え、投票参加を促す。 また、選挙の確実な執行に協力する。	苫小牧市明るい選挙推進協議会	57	10月執行の衆議院議員総選挙及び12月執行の苫小牧市長選挙では、明るい選挙推進協議会の会員が投票所の立会人として積極的に従事し、確実な選挙の執行に貢献している。 また、選挙の期日前投票の開始に併せて商業施設で投票の呼びかけを行い、投票日の周知を図ることができた。
4	令和6年6月26日 令和6年7月23日 令和6年10月23日 令和7年3月19日	苫小牧アートフェスティバル 2024	生涯学習課	例年実施 (平成22年～)	出光カルチャーパークと周りの文化施設が連携し、「誰もが気軽に文化芸術に触れる機会の充実」を基本コンセプトに、市民に気軽にアートに触れてもらうとともに、出光カルチャーパークのすばらしさを知っていただき、市民の憩いの空間の形成を目的とする。	苫小牧アートフェスティバル実行委員会	24	ワークショップの開催や一般団体の発表機会などを通じ、多くの市民が気軽に文化芸術に触れる機会が作られたとともに、出光カルチャーパークの良さを知ってもらう機会につながった。

No.	実施年月日	協働事業の名称 (担当課)	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場 合は延べ人 数)	取組の効果、市民からの反響等
5	内閣総理大臣メッセージ伝達式 令和6年7月1日 交流事業 令和7年3月9日	社会を明るくする運動	青少年課	例年実施 (昭和26年～)	犯罪や非行防止と過ちを犯した人の立ち直りについて理解を深め、それぞれの立場において、力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な地域社会を築くことを目的とする。	社会を明るくする運動苫小牧地区実施委員会 ・苫小牧市 ・苫小牧市防犯協会 ・苫小牧地区保護司会 ※事務局は健康こども部青少年課 ・苫小牧更生保護女性会 ・苫小牧地区協力雇用主会	32	7月の強調月間において、苫小牧地区実施委員会会長から苫小牧市長に内閣総理大臣メッセージ伝達を行い、社明運動の市民周知を図ることができた。また、児童養護施設との交流事業を行い、子どもたちとの交流を図ることができた。
6	令和6年7月16日 令和6年8月2日 令和6年8月28日	各種祭典及び大型店の合同巡回指導および調査	青少年課	例年実施 (昭和45年から継続実施)	苫小牧市内における青少年の健全育成および非行防止のため、青少年にとって有害な図書や環境を排除し、より良い社会環境の整備を図ることを目的としている。	苫小牧市有害環境排除モニター連絡協議会(モニター会員 16名) 事務局は健康こども部青少年課	29	各種祭典及び大型店の合同巡回指導および調査活動を行うことにより、児童・生徒等の校外における実態を把握することができた。
7	令和6年7月30日～ 8月4日	第19回全国高等学校選抜アイスホッケー大会	スポーツ都市推進課	例年実施 (平成18年～)	アイスホッケー大会の開催(男子高校生)全国高校総体(インターハイ)と並ぶ全国大会を開催し、アイスホッケーの人気向上や競技人口の拡大のほか、本市の知名度向上や地域の活性化を図る。	全国高等学校選抜アイスホッケー大会 苫小牧市実行委員会	7,800	アイスホッケー競技の競技力向上や、関係者の多くが市内に滞在し、地域活性化を図ることができた。
8	令和6年8月2日～4日	とまこまい港まつり	観光振興課	例年実施 (昭和31年～)	市内最大のイベントである港まつりの開催・運営 例年、中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約150店舗の露店の出店、一条通での市民おどり、マーチングフェスティバル、港湾エリアでの護衛艦等の一般公開や「とまみん苫小牧百年花火」を行っている。	北海道電力(株)苫小牧支店、出光興産(株)北海道製油所、トヨタ自動車北海道(株)等の企業のほか、苫小牧観光協会等の協会組織、商工会議所等約50団体が実行委員会の委員として参加	344,000	多くの市民が参加することにより、ふれあいや隣人愛、郷土愛を育む事ができる。
9	第1回役員会 令和6年8月9日 第2回役員会 令和7年2月28日 (書面開催) 第1回総会 令和6年8月26日 (書面開催)	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会	ゼロごみ推進課	例年実施 (平成5年～)	苫小牧市資源リサイクル団体連絡協議会は、ごみの減量と資源化を全市的な運動とすることを目的に設立された組織であり、集団回収活動が効率よく行われるよう情報提供等を行っている。	町内会・自治会、老人クラブ、学校PTA、同好会、各種団体等	6	集団回収活動は、ごみの減量・リサイクル、地域のコミュニティ活動にもつながることから今後も活動を支援する。
10	令和6年8月31日	青少年のための科学の祭典苫小牧大会	科学センター	例年実施 (平成17年～)	小中学生に実験や工作を通して科学のおもしろさ、不思議さを体験し、楽しんでもらうことを目的とする。 理科教諭・科学技術系職従事者や中学生・高校生ボランティアなどがデモンストレーターとしてブースを出展し、来場者に実験・工作・観察体験などを楽しんでもらう。	苫小牧科学の会	1,617	小中学生が多数来場し、各ブースで体験を楽しんでいた。 多くの参加者が来場し、科学への興味・関心を深めていた。
11	令和6年9月4日 令和7年1月20日 令和7年3月17日	樽前アートスクール2024	生涯学習課	2年に1度実施	市内小学生及び保護者を対象に、樽前地区において一流の芸術家の指導による創作活動や、地域住民や他校間・異学年との交流を通じて、人の豊かな感性や創造性を磨くことを目的とする。	樽前アートスクール実行委員会	23	貴重な体験と新たな気付きを得たなどの意見をいただき、樽前地区の魅力と文化・芸術への関心を高めることができた。
12	委員会 令和6年9月30日 令和6年10月9日 令和6年10月31日 令和6年11月12日 令和6年11月18日 令和6年12月4日 令和6年12月26日 令和7年1月9日 令和7年1月11日 令和7年2月28日 はたちを祝う会 令和7年1月12日	苫小牧市はたちを祝う会(旧苫小牧市成人式)	生涯学習課	例年実施	はたちを祝う会の式典の企画立案や当日の運営に参画することで、主体的に行動する苫小牧市民としての自覚を深め、今後の積極的な生涯学習活動への参加を促す。	苫小牧市はたちを祝う会実行委員会	1,139	活動を通じて、これからの地域を担う主体としての自覚を深めるとともに、地域で活動する団体や市に対する理解・信頼を深めた。 ※令和7年苫小牧市はたちを祝う会 ・出席者 1,093人(対象者 1,451人) 出席率75.3%

No.	実施年月日	協働事業の名称 (担当課)	担当部署	実施区分	協働事業の目的、内容等	取組に関係した団体等	参加人数 (複数回の場合 は延べ人数)	取組の効果、市民からの反響等
13	ステージ発表 令和6年10月5日～11月17日 文芸行事 令和6年10月6日～11月17日 総合展示 令和6年10月26日～27日 地域文化祭 令和6年10月6日～11月3日 表彰式 令和6年11月23日	苫小牧市民文化祭	生涯学習課	例年実施 (昭和23年～)	広く市民が文化芸術に関する学習成果や活動成果を発表する場を提供することを目的とし、例年10月～11月にかけて、ステージ発表、文芸大会、総合展示発表、地域文化祭などの各種事業を、苫小牧市文化団体協議会と協働、その他多くの市民の協力により行っている。	苫小牧市民文化祭実行委員会（苫小牧文化団体協議会等）	7,360	文化団体や市民と共通のイベントに対して共に取り組むことで目標や課題を共有しながら、文化芸術に対する学習成果や活動成果を発表・鑑賞する場を創出している。若い世代が文化活動に参加する機会ともなっており、一般参加での展示については、参加者が増加傾向にあるため、文化芸術に携わる機会を提供している。また地域の文化団体の交流の場にもなっており、地域や文化団体とのつながりづくりや、各文化団体のコラボレーション等による相乗効果も見込まれている。
14	令和7年10月6日	勇払公民館まつり	勇払公民館	例年実施 (昭和57年～)	勇払公民館を活動の拠点とするサークルや同行会活動の発表の場、地域の方々の交流の場として開催	勇払公民館活動サークル(同好会) 11団体、勇払チビッコ太鼓、勇払千人太鼓 (顧問：日本製紙白老工場勇払工場長、勇払自治会長、勇払幼稚園長、勇払小学校長、勇払中学校長、勇払商工会長、勇払資料館長)	293	毎年行っている行事で、勇払公民館活動サークルの発表の場として、市民に披露すると共に交流の場として喜ばれている。
15	令和6年10月20日	第11回苫小牧漁港ホッキまつり	農業水産振興課	例年実施 (平成23年～)	漁業、港湾振興、観光、まちづくりなどの関係団体が連携を図って、水揚量日本一を誇り苫小牧市の「市の貝」であるホッキ貝を広くアピールし、消費量の拡大や生産者(漁業者)と市民との交流を図るとともに、港湾区域や施設を一体的に利用した賑わいの創出と観光客の誘致を進め、まちの活性化を促進する。	苫小牧漁港ホッキまつり実行委員会	32,000	市内外からたくさんの来場者があり、苫小牧産ホッキ貝のPRができたとともに、漁港区の賑わいの創出につながった。
16	令和6年10月25日～27日	東胆振物産まつり	観光振興課	例年実施 (昭和59年～)	各地域の特産品等の展示・即売、観光宣伝などを協調して実施することを通じ、東胆振広域圏の連携を強化し地域産業の振興を図ることを目的に実施。 イオンモール苫小牧1階（R5はMEGAドン・キホーテ3階）で1市4町の特産品コーナーを設け、東胆振管内で生産若しくは加工された食料品及び民芸品や名物として親しまれてきたものを一堂に集め、地域の特色を生かした展示即売を行っている。	1市4町の首長をはじめ、とまこまい広域農業協同組合やいぶり中央漁業協同組合、各町の観光協会や商工会のほか14団体が実行委員会の委員として参加。	10,100	本イベントを通して1市4町の特産品の展示即売を行うとともに、会場内に各町のパンフレット等を設置することで東胆振広域の連携を強化し、地域産業の振興に貢献した。 また、各市町の特産品をPRする取り組みとして、各首長が1日店長となったほか、ご当地キャラクターが集まる企画を実施した。
17	令和6年11月2日～3日	とまこまいコスプレフェスタ	観光振興課	例年実施 (平成25年から継続実施)	サブカルチャーによる苫小牧市への地域振興や誘客促進を図り、地域の活性化に寄与することを目的とする。 苫小牧市内の各企業などからの協力を得て、コスプレイヤーに対して撮影会場を提供。撮影の他にもステージイベントや痛車展示会などコスプレイヤーだけではなく、みなが楽しむことができるイベント。	MEGAドン・キホーテ苫小牧、苫小牧総鎮守 樽前山神社、日本軽金属㈱苫小牧製造所等 16団体が実行委員会の委員として参加	9,000	道内で2番目に誕生したコスプレイベントで、例年市外及び道外からも参加者が多数苫小牧市に訪れている。特に撮影会場については、市内各企業のご協力があり提供できているため、苫小牧市全体で1つのイベントを作り上げているといえる。 昨今のアニメ文化の盛り上がりもあり、老若男女問わず楽しむことができるイベントとなっている。
18	令和6年12月24日 令和7年2月17日	ビジット苫小牧観光会議	観光振興課	例年実施 (平成22年から継続実施)	本市における観光産業のつながりを強化するとともに、観光情報の共有により本市の観光を魅了する観光振興策を検討し、より多くの誘客を図ることを目的とする。 観光事業者、観光団体、経済団体、行政機関など、それぞれの分野で観光振興を図っている団体を構成メンバーとし、北海道への外国人観光客を含め、多くの観光客を苫小牧に引き付ける観光振興策を検討し、より多くの誘客を図る会議	北海道運輸局苫小牧海事事務所、苫小牧港管理組合、苫小牧商工会議所、苫小牧観光協会、苫小牧青年会議所、北海道中小企業家同友会、フェリー協議会、北海道バス協会、JR、旅行会社、漁業協同組合、農業協同組合、一般公募者（若干名）が委員として参加	27	それぞれの分野で観光振興を図っている団体が一堂に会し、意見交換を行うことで観光振興に対する意識が向上。また、新たな観光振興策の検討を行い、まちぐるみで観光振興に取り組むことで、交流人口が増加し地域経済の活性化へと繋がっている。
19	令和7年2月8日～9日	とまこまいスケートまつり	観光振興課	例年実施 (昭和42年～)	冬の一大イベントであるとまこまいスケートまつりの開催・運営 例年、中央公園をメイン会場とし、ステージ行事や約50店舗の露店の出店、スケート競技やアイスホッケー大会の開催や苫小牧名物「しばれ焼き」を開催している。	出光興産㈱北海道製油所、トヨタ自動車北海道㈱等の企業のほか、苫小牧観光協会等の協会組織、商工会議所等約30団体が実行委員会の委員として参加。	60,000	スケートの街「氷都とまこまい」を市内外にPRし、市外からの観光客も多く訪れている。 特に「しばれ焼き」は苫小牧を代表する名物として広く愛され、子ども達が楽しめるアトラクションも多く、家族で楽しめるイベントとなっている。